

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 10 日

上場会社名 はるやま商事株式会社
 コード番号 7 4 1 6
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 治山正史
 問合せ責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 浅沼 明

上場取引所 東証一部
 URL <http://www.haruyama.co.jp/>
 TEL : (086)226-7101

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	15,547	4.3	282	6.4	340	27.9	△189	—
19 年 3 月期第 1 四半期	14,902	—	265	—	266	—	△594	—
19 年 3 月期	58,308	—	3,525	—	3,673	—	1,012	—

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	△11 65	—
19 年 3 月期第 1 四半期	△36 07	—
19 年 3 月期	61 68	61 61

(注) ①前年同四半期より連結財務諸表の開示を行っているため、平成 19 年 3 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

②平成 19 年 3 月期第 1 四半期及び平成 20 年 3 月期第 1 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの 1 株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	66,180	36,536	55.2	2,246 22
19 年 3 月期第 1 四半期	59,229	35,642	60.2	2,164 67
19 年 3 月期	66,648	36,963	55.5	2,272 42

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

当第1四半期における業績は、前年同四半期に比べて売上高、利益ともに増加しておりますが、紳士服販売事業におきましては、既存店売上高が予想をやや下回って推移しております。しかし、そのことによる利益面への影響は軽微であり、コスト削減の諸施策等により中間期の利益は概ね計画通りに推移すると考えております。したがって、現時点におきましては平成19年5月18日発表の業績予想は中間期、通期とも変更はありません。

当社においては、事業の性質上、下半期（10月～3月）の売上高、利益が上半期（4月～9月）に比べて大きいという季節的な要因があります。

3. その他

- | | | |
|---|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 | : | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 | : | 有 |

（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の国内経済は企業収益の好調を背景に設備投資が堅調に推移し、景気は緩やかに拡大いたしました。個人所得の格差は依然として解消されず、個人消費は引き続き厳しい状況が続いております。加えて、春先の低気温により春物衣料品の需要が伸び悩むなど、小売業界にとって厳しい経営環境のまま推移いたしました。

このような環境のもとで、当社グループは当第1四半期も積極的な出店を続け、13店舗の新規出店を行うとともに、各店の改装を進めてまいりました。また、CS運動（顧客満足運動）の展開や人材の育成など、お客様のご意見ご要望を最優先に考え、適時に顧客サービスに反映していく組織づくりを推進してまいりました。

主力の紳士服販売事業につきましては、春先の天候不順により厳しい状況でスタートいたしました。従来、盛夏スーツに比べて一段と軽く通気性の高い「エアスーツ」を発売、また確かな価値観と美意識による自分流のお洒落を楽しむ方のために一流ブランド「YUMI KATSURA」のメンズスーツを展開するなど、お客様のニーズにお応えすべく努力いたしました。また、リクルート向けのレディーススーツを充実させたことなどにより、紳士服売上全体では前年対比104.3%となりました。

カード事業につきましては、紳士服販売事業における多様化した顧客ニーズに的確な対応が可能なカードを推進し、同事業の営業推進部門を強化・支援することを主たる目的として事業を展開しております。当第1四半期におきましては、事業基盤構築のため引き続き「NIFISカード」の会員募集に力を入れると同時に、「紳士服」周辺の生活に密着した金融サービスを提供し、平成19年6月末現在の有効会員数は151千人、営業貸付金残高は531百万円となりました。また、公共料金のカード決済推進キャンペーンなどのショッピング利用促進施策を実施するとともに、広告宣伝費の見直しを行った結果、営業利益はほぼ予想通り推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、売上高155億4千7百万円、営業利益2億8千2百万円、経常利益3億4千万円となりました。収益性の下落により営業店舗11店舗、賃貸資産及び遊休資産2件について3億6千7百万円の減損損失を計上したことなどにより、1億8千9百万円の第1四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は661億8千万円となり、前連結会計年度末比4億6千8百万円の減少となりました。新規出店等によりたな卸資産が6億2千3百万円、差入保証金が1億9千万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が15億9百万円減少したことなどが主な要因であります。負債につきましては、短期借入金が6億円増加いたしました。長期借入金も5億5千8百万円減少したほか、法人税等の納付によりその他流動負債が減少した結果、前連結会計年度末比4千2百万円減少の296億4千3百万円となりました。純資産は前連結会計年度末比4億2千6百万円減少の365億3千6百万円となりました。これにより、自己資本比率は55.2%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な方法を採用しております。

- ・たな卸資産については、実地たな卸を行わず、帳簿たな卸により算定しております。
- ・税金費用については、簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

当四半期より、法人税法の改正に伴い、当社及び連結子会社は平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産（建物を除く）については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	2,114	6,672	4,557	215.6	8,181
2 受取手形及び売掛金	276	91	△184	△66.8	97
3 営業貸付金	312	531	219	70.2	479
4 たな卸資産	14,741	15,685	944	6.4	15,062
5 その他	3,991	4,775	784	19.6	4,483
貸倒引当金	△10	△0	10	△98.3	△0
流動資産合計	21,426	27,757	6,331	29.6	28,303
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	11,289	11,171	△117	△1.0	11,170
(2) 土地	14,245	14,035	△209	△1.5	14,107
(3) 建設仮勘定	164	29	△135	△82.3	361
(4) その他	925	1,047	121	13.1	945
有形固定資産合計	26,625	26,283	△341	△1.3	26,585
2 無形固定資産	139	164	25	18.3	149
3 投資その他の資産					
(1) 差入保証金	5,705	6,165	459	8.1	5,974
(2) その他	5,482	5,915	432	7.9	5,745
貸倒引当金	△148	△106	42	△28.5	△109
投資その他の資産合計	11,039	11,974	935	8.5	11,610
固定資産合計	37,803	38,422	619	1.6	38,344
資産合計	59,229	66,180	6,950	11.7	66,648

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	11,008	11,649	641	5.8	11,421
2 短期借入金	700	2,000	1,300	185.7	1,400
3 1年内返済予定の長期借入金	1,380	2,195	815	59.0	2,219
4 未払金	1,613	4,527	2,913	180.6	4,798
5 ポイント引当金	463	512	48	10.5	494
6 賞与引当金	479	495	16	3.4	289
7 その他	1,373	1,557	183	13.4	1,818
流動負債合計	17,019	22,938	5,918	34.8	22,443
II 固定負債					
1 長期借入金	4,587	4,653	65	1.4	5,187
2 退職給付引当金	1,071	1,167	96	9.0	1,143
3 役員退職慰労引当金	639	600	△39	△6.1	639
4 預り保証金	198	210	12	6.1	204
5 その他	70	72	2	2.8	67
固定負債合計	6,567	6,704	137	2.1	7,242
負債合計	23,587	29,643	6,056	25.7	29,685
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	3,990	3,991	0	0.0	3,991
2 資本剰余金	3,864	3,864	0	0.0	3,864
3 利益剰余金	27,779	28,944	1,165	4.2	29,386
4 自己株式	△15	△287	△271	—	△287
株主資本合計	35,618	36,513	894	2.5	36,954
II 評価・換算差額等	22	23	1	4.8	8
III 少数株主持分	0	—	△0	—	—
純資産合計	35,642	36,536	894	2.5	36,963
負債・純資産合計	59,229	66,180	6,950	11.7	66,648

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	14,902	15,547	644	4.3	58,308
II 売上原価	7,044	6,933	△111	△1.6	26,070
売上総利益	7,857	8,613	756	9.6	32,237
III 販売費及び一般管理費	7,592	8,331	739	9.7	28,712
営業利益	265	282	17	6.4	3,525
IV 営業外収益	70	126	55	77.5	388
V 営業外費用	70	67	△2	△3.2	240
経常利益	266	340	74	27.9	3,673
VI 特別利益	7	—	△7	—	53
VII 特別損失	801	528	△272	△34.0	1,213
税金等調整前四半期純損失(△) 又は税金等調整前当期純利益	△527	△187	339	—	2,513
税金費用	71	1	△69	△97.5	1,505
少数株主損失	3	—	△3	—	4
四半期純損失(△) 又は当期純利益	△594	△189	405	—	1,012